

教育行政リーダー研修の展開について

趣旨

急激な社会の変化に伴い、教育課題が多様化・複雑化し、向き合うべき課題が次々と生まれ続けている中で、各教育委員会等には、既存の思考に囚われることなく、中長期的なビジョンを描き、優先的なテーマを設定し、教育行政を前に進めることが求められている。その際、「鍵」となるのは、教育行政リーダーや教育委員会自体が、ビジョンを描き、描いたビジョンに基づき、自身や、組織としての思考の枠組みや「在り方」について、捉え直したり、問い直したりすることではないかと考える。

こういった考えのもと、探究型研修としての本研修では以下のことを目指す。

- ・教育委員会幹部職員等が、組織的・協働的な教育行政の展開をテーマに、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねながら、実践を展開していくことで、自他の価値観に気付く」探究のプロセス全体を通して、課題を探究していく力の涵養を目指す。
- ・自身や自身の組織について様々な気付きを得たり、考えを深めたりすることを通じて、組織的・協働的な取組を展開していく力を深めることを目指す。
- ・参加者が、協議等を通して交流し、将来に続くネットワークを構築することを目指す。

研修の大まかな流れ

研修 1か月前	オンライン事前説明会 (1時間程度) ・参加者交流 ・研修の趣旨や対面研修での持参物の説明 ・事前アンケートへの回答依頼	
1～3日目	対面研修 1日目：9:10～17:00 (受付 8:45～) 2日目：8:45～17:00 3日目：8:45～15:00 ◆対話や省察等を通して、 ・自身の行政経験や課題意識を互いに共有する ・自身の価値観や思考の枠組みについて、気付きを得る ・自身の行政組織の在り方について、気付きを得る ・教育行政リーダーとしての在り方や組織への働きかけを考える ※展開や状況に応じて、ケーススタディや資料参照等を行う	○参加者同士及びNITS職員・講師との意見交換 ○文献・動画参照 ○探究記録の作成 ○自身の組織への働きかけ
約半年間	(実践)	
4日目	オンライン研修 9:00～16:30 (受付 8:45～) ・実践にまつわる内省の共有 ・研修全体の振り返り	

NITSが考える「新たな教職員の学び」や「研修観の転換」について、「コア研修」「教育行政リーダー研修」をはじめとした「探究型研修」への取組については、NITSのWebページにて随時発信しています。

(<https://www.nits.go.jp/about/strategy/>)



NITS戦略
～新たな学びへ～
NITSは、中長期的な成長を促すため、
「新たな学び」の推進に取り組んで、
教育行政の発展に貢献していきます。



昨年度の研修の流れ

活動 1	「ジブンガタリ」(自身の経験や願いを共有する)
活動 2	「自身の視座を見つめる」
活動 3	「自身のことを考える」(自身の視点の深さを省察する)
活動 4	「自身の組織の組織文化について見つめる」
活動 5	「今後の行動方針の検討」

※本研修は令和5年度にスタートし、試行錯誤を重ねながら、令和6年度は上記のように実施しました。

今年度も引き続き試行錯誤を重ねる中で、内容等の大幅な変更があることも予めご了承ください。

参加者の声(研修アンケート回答より抜粋)

テーマはきっかけに過ぎなかった。その後はファシリテーターとともに、問いから問いが生まれるなど、問いの連鎖による思考の深まりを感じた。研修で得られた思考の深まりもさることながら、探究型の形を経験できた意義も大きい。

探究型の研修で、今求められる授業との相似形を思わせるような形式は興味深かったが、答えがない状況で、自分なりに対話を通し最適解を導きだしたつもりだが、果たしてこれが本当に真に最適解なのか疑問、モヤモヤが残る。

自分にとって違和感を感じることに、あらたな気づきの入り口があるかもしれない、という自覚をもって、本当にそうだろうか、と問いを立てる先に「学び」が起こると感じています。

いったい何を伝えたいのか?と問わざるをえないNITSの皆さんに「巻き込まれ」、「気づくと」、教育行政リーダーとは?教育とは?教育行政とは?との振り返りをしている。